

ぐるめ散歩

うなぎ

浜名ッ子

浜名湖産のうなぎがリーズナブルな価格で味わえる専門店、浜名湖養魚組合の多摩地区の代理店として都内などの専門店などにうなぎを卸している市内の水産加工会社が「地元の狛江市民に本場のうなぎを気軽に楽しんでもらいたい」と昭和59年に開店した。

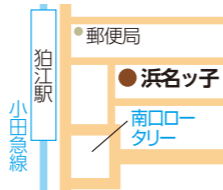
店長の石川孝利さんの義兄が営む市内の加工場でさばいて白焼きした新鮮なうなぎを使い、蒸して



石川さん

から自家製のタレを二度漬けて焼

☎3488-3088 東和泉
1-19-1 営業=午前11時~午後3時、4時~9時
(土・日曜日は休み無し)
火曜休み



ていねいに焼いた浜名湖産うなぎ 水産加工会社が地元向けに出店



うなぎ重松

いて提供している。

メニューはうなぎと白焼き膳、蒲焼きと白焼きがあり、うなぎの量によってランクが分かれる。このほか、うなぎ、うなぎの南蛮漬、季節の野菜を煮た日替わりおばんざいなどがある。また、新政No.6をはじめ全国各地の地酒も人気。

店内はゆったりとしたテ

■おすすめMENU■

うなぎ重=二段重¥6,000、特上¥4,500円、松¥3,750、竹¥3,200、梅¥2,850、木の葉¥2,600、白焼き膳=上¥3,750、並¥2,850、ねぎ蒲井¥2,850、蒲焼=松¥3,350、竹¥2,800、白焼=松¥3,350、竹¥2,800、うなぎ¥1,700、うなぎ南蛮漬¥900 (税込み)

ーブル席が中心で、家族連れやお祝いで訪れるグループも多いという。

ことしの丑の日は7月23日

と8月4日(困)の2回あるが、この両日は店頭販売のみになる。

石川店長は「浜名湖産のうなぎは身が柔らかく味が良いので、本物志向のお客さんに喜ばれています。うなぎは焼きが命なので、ていねいに焼くことを第一に心がけています」と話している。

希望を持って生きる少女の夢が絵本に

おにしわかさん作「ビーズのおともだち」



入院中のベッドの上で希望を持ってがんばる狛江の小学生が生活や思いを描いた物語が絵本になった。小学6年のおにしわかさん(写真右)は4歳の時に小児がんが見つかり、5歳で初めての手術を受け、現在も治療を続けている。絵本作家になるのが夢というわかさんは、手術や検査などの度にガラスビーズを受け取る「ビーズ・オブ・カレッジ」の経験を元に物語を創作した。4月に絵本『ビーズのおともだち』(作・おにしわか、文・大川久乃、絵・のしかおり、ニジノ絵本屋、定価1,760円・写真左)として出版され、夢が実現した。

絵本は、病室で少女が受け取った色とりどりのビーズが妖精に変身し、少女が「がんばりパワー」を高めていくというストーリーで、病気と向き合う子どもたちへの強いメッセージと医療関係者をはじめ彼女を支えてくれる人々への感謝の気持ちが込められている。

わかさんは「みんなで力を合わせてがんばった。たくさんの人に見て欲しい」と話しており、売り上げの一部は小児がん・小児難病の治療や研究のために寄付する。絵本は狛江駅構内のコーヒースタンドK.Base Coffee Storeでも販売している。

問い合わせは☎6421-3105ニジノ絵本屋。

3年ぶり、17日に多摩川いかだレース 全回出場の御台橋商栄会、商工会を表彰

夏の風物詩「狛江古代カップ多摩川いかだレース」(同レース実行委員会主催)が17日(雨天時は24日)に3年ぶりに開催される。



第1回のレースに参加した御台橋商栄会のいかだ

実行委員会では新型コロナウイルス感染症の対策をとって開催を決め、参加者を募集したところ、前回とほぼ同数の87チームが応募、初出場が35チームを数え、関係者を喜ばせた。

レースは五本松付近を午前10時にスタート、約1.3kmの区間でタイムとデザインを競う。

30回を記念し、全回出場している御台橋商栄会と狛江市商工会に特別功労賞を出す。

御台橋商栄会は、商店会活性化と親睦を目的に青年部が取り組んでおり、その時々時事ネタでいかだを製作、タイム部門で4位になったこともある。6月半ばからいかだを製作している鈴木知嗣部長たちは「今回は30位を目指したい」と話している。ただ、初回から29回までいかだに乗り個人乗組員最長記録を持っていた小高孝三さんが昨年12月に死去。実行委員会では小高さんの遺族を招いて表彰する予定で、鈴木さんたちは「残念ですが、小高さんの分もがんばりたい」と話している。

狛江市商工会は、工業部会がレースを担当、小川克美部会長によると、アイデアを役員から募って6月半ばから製作している。デザインは経済ネタが中心だが、こま井や市の商品券、花火大会など商工会のPRもしている。目標は、参加することが大切で、壊れずに無事ゴールすることだという。

親子で大根、白菜を栽培、JAが参加者募集

JAマインズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。

都市農業への理解や食農教育が目的で、猪方3丁目にある畑で大根と白菜を栽培して収穫する。日程は9月10日(種まき・植え付け、施肥・畝づくり)、10月15日(除草作業、間引き・追肥など)、11月26日(収穫・片付け)の3回(天候などにより日程の変更あり)で、初回のみ午前9時にJAマインズ狛江支店に集合する。対象は狛江市在住の幼児・児童とその保護者で定員10組(応募多数の場合は抽選)。参加費は1世帯1,000円(傷害保険代、種・肥料代等)。

申し込みは8月15日(日)までに電話(☎3488-3435)またはファクス(FAX3488-2830)でJAマインズ狛江支店経済指導部門へ。

これからもお客様の「ウマイ」に全力でおこたえます



お陰様で創業120周年
日本の文化である地酒(日本酒と焼酎)専門店 <https://kago-ya.net>
月曜定休・営業時間10:00~20:00(日祝10:00~19:00)
〒201-0016 狛江市駒井町3-34-3
電話:03-3480-8931 FAX:03-3489-2044



ワンコインカレー

は〜とGoods

手軽に味わえる本格派

長時間煮込んだオリジナルスープと、専門店から仕入れたカレー

粉、ガラムマサラなどのスパイスを使った本格的な3種類のカレーとハヤシライスがある。ターメリックライスの量は4段階あるが、価格はいずれもワンコインの500円で、現在は新型コロナウイルス感染症対策のためテイクアウトのみ。また、「1日パン屋さん」を月1回開く予定で、総菜パンや菓子パンを販売する。

NPO法人狛江さつき会が運営する就労支援事業所カレーショップ・メイを利用するメンバーが精神保健福祉士などのサポートを受けて調理と販売を行っている。製品=チキンカレー、キーマカレー、豆カレー、ハヤシライス各500円、ルウのみ300円。総菜パン150円、菓子パン120円(いずれも税込み)。

カレーショップ・メイ=東和泉4-1-7-101 ☎3480-3468 営業=水~土曜、午前11時30分~午後3時。



四季彩彩 多摩川いかだレース

手作りのいかだで多摩川を下り、タイムやデザインを競う狛江古代カップ多摩川いかだレースは、夏の名物イベントとして親しまれている。平成2年に始まり、今年で30回目を迎える。現在では市外からも多くのチームが参加、水上で熱戦を繰り広げる。

写真: 栗原稔さん「多摩川いかだレース」(第1回狛江市観光写真コンクール入選)